



障がい者雇用にも熱心に取り組んでいる金谷社長。退職後も自立しているよう、毎月財形貯蓄をしており、専用の寮も用意するなど手厚く環境を整えている。

秋田の「雇用」と「産業」を守り育てる。

株式会社 秋田オイルシール

代表取締役 金谷信榮氏



これまでの面接者、約2万人。人を見抜く眼力が身に付いたと言う。

多くのメーカーが、労働コストの低い海外に生産をシフトしている昨今、国内産業の衰退と雇用機会の減少が問題視されている中、秋田県内での生産にこだわり続けている企業がある。それが秋田オイルシールだ。確固たる理念のもと、未来を見据えた新たな挑戦をスタートさせている。



「雇用は秋田で創る」、それが創業時からの基本理念

今年4月、秋田オイルシールはにかほ市の空き工場への進出を決定した。自動車向けゴム製品の生産工場として、2015年3月の操業開始に向け準備を進め、初年度は70人を新規雇用する計画だ。同社は市場ニーズに合わせベトナムに工場を有しているものの、グループ会社と合わせた他の3つの生産拠点は秋田県北に設置している。にかほ市の新工場は、県内で4つ目の工場となり、「秋田での生産」にこだわっている。金谷信榮社長にとって、海外シフ

ト一辺倒というのは「一時逃れ」の対策でしかない。「安ければいいというだけで逃げていると生き残ることはできない」と金谷社長。「逃げの経営」をしては自分自身もだめになってしまう」と続ける。

同社を設立する10年前の1974年、「株式会社秋田アルス」を立ち上げたのが現在の秋田オイルシールグループの始まりである。旧八森町(現八峰町)の商工会の職員から一転して起業した目的はひとつ。それは、働きながらも親の面倒を見られるような環境にある職場を地元で創るためだ。創業当初は「親を見る約束」を条件に地元の長男を採用し、経営を軌道に乗せた。

品質と技術力が呼び寄せたボッシュ社との出会い

1982年、秋田アルスの製品はドイツの自動車部品メーカー「ロバート・ボッシュ社」の目にとまった。ボッシュ社が発注先として検討していた日本企業4社のうち、直径0.825ミリのO-リングを生産することができたのは秋田アルスだけだった。1984年、秋田県と藤里町の誘致企業として秋田オイルシールを立ち上げ、ボッシュ社の品質認可を受けて納入を開始。同社のO-リングは、ボッシュ社の2種類ある燃料噴射バルブ両方に採用され、大きな売上となっている。

「品質の高さを自信を持って宣言できる企業に育てることが最大のポイント」と金谷社長は言う。世界でも認められる品質を実現できたのは「負けん気」、「省力化」、「スピード納入」、「創意工夫」、「試行錯誤」…そういう覚悟と地道な努力の積み重ねがあったからだ。金谷社長自らアイデアを出し、強力なリーダーシップをもって同社のブランド構築を推進してきたと言える。

世界はどこに向かうか。成長分野を見定め、先手を打つ

めまぐるしく変化する顧客ニーズに応えるため、2012年12月、同社は本社工場隣に

技術開発センターを開設した。「世の中はこれからどう変化していくのかしっかりと読み解き、先手を打つことが肝要」と、金谷社長は力を込める。同社が得意とする自動車分野の中でも、電気自動車・クリーンディーゼル車など次世代自動車と言われる分野をはじめ、リチウムイオン電池や水素燃料電池などの環境エネルギー分野、ガス管・水道管などの社会インフラ分野、医療や食品分野など、4つの分野に重点を置き、研究開発を進めている。労働集約型産業でありながら「研究開発型」の要素を高め、価格ではなく品質と技術力で選ばれる基盤の強化に努めている。

ゴム製品は、日常生活の中では「わき役」のイメージがあるかもしれない。しかし、ボッシュ社の燃料噴射バルブに使用される極小のO-リングが重要保安部品として厳しい品質規格が設けられているように、この小さなゴムの部品がなければ自動車も飛行機もロケットも動かないのである。新しい時代がやってきても、さまざまな分野での需要が見込まれる頼もしい素材の一つだ。秋田の経済を牽引するリーダー企業として、さらなる活躍が期待されている。



ゴム製品は、製品設計から始まる9つの工程を経て出荷される。デジタル機器の活用と、社員の熟練技術によって、精度の高い製品が生み出される。



製品は12,000アイテムに及ぶ。さまざまな顧客ニーズに即応できるように、ゴム材料も400種類以上保有している。

自動外観検査機。カメラ6台でキズや汚れなど6つのポイントを検査し、欠陥品を自動的に仕分けする。この機械の導入により、検査効率の向上と低コスト化を実現した。



株式会社 秋田オイルシール

〒018-2304
秋田県山本郡三種町豊岡
金田字堀切126-1
Tel. 0185-72-4141
Fax. 0185-74-5903
http://www.akita-aos.com

■創業/1984年3月
■資本金/9,550万円
■売上高/2,003百万円
■社員/288名
■事業内容/O-リング、オイルシール、X-リングなどの工業用ゴム製品の製造・販売

にかほ市役所象潟庁舎で行われた立地協定調印式。秋田オイルシールの進出は、厳しい雇用情勢が続いていたにかほ市にとっても朗報となった。